

変えよう鎌ヶ谷!市民が主役 県政通信

千葉県議会議員

# 岩波はつみ

発行日:2025,04,10 (No.72)

発行者:千葉県議会議員 岩波初美

■岩波初美事務所■

〒273-0124 鎌ヶ谷市中央 1-1-34 前田ビル 3F

電話 047-445-5780 FAX 047-445-5790

メール kamagaya@iwanamihatsumi.com

活動ブログ <https://iwanamihatsumi.com>

【どうなる?日ハム球場北海道への移転方針】  
 昨年夏に突然知らされた、日ハム球場の北海道移転方針。その後どう進捗しているのか。鎌ヶ谷市からの公式発表は無い。ただはつきりしているのは、民間団体ファイターズ鎌ヶ谷の会は3月で解散し、今後は市が直接関連イベントを仕切るらしい。日ハム球場は鎌ヶ谷市の観光シンボルであり。市民の誇りである。その今後の展開に関する情報が秘匿される中、もし転出となる場合には、今後の球場活用検討と引継ぎ準備に時間が必要だ。求む!経緯の情報公開



## 【緊急報告】 財政立て直しが急務 次の鎌ヶ谷市長選挙への挑戦を会見で公表

3月21日、鎌ヶ谷市役所の会議室を借用し、県内メディアに向けて、来る市長選挙への挑戦の決意と考え方を説明した。

記者からは、現市長への評価を問う質問の他、2018年の3回目の市長選挙会見の際に、「これで最後の選挙とする」とした中、4回目に挑むこととした理由は?と、私自身がすっかり忘れていた過去の発言への質問には、県議の仕事を通じて、やる気がチャージしてきたこと、何故今挑むのか?との質問には、財政立て直しが急務であるためと答えた。

会見では、市民の皆さんに提示する公約の3つの柱を説明した。裏面参照

- 財政の立て直し～経営戦略室の新設
- 非常時に備え専門チームを～危機管理室の新設
- 公権力による人権侵害を抑止～人権室の新設



私の会見内容を解説した動画。市財政立て直しとキラッと輝く我が街鎌ヶ谷を実現するための行動方針を解説した。

## 行き過ぎた親子分離を抑止し、児童相談所の労働環境を立て直す ～2期6年間の県議の仕事を通じ分かってきた解決策～

千葉地裁、元児相職員への賠償を千葉県に命令

3月26日、千葉地裁にて元児童相談所職員への賠償を県に命ずる判決があった。令和4年から始まった裁判、定員の倍の児童を収容した市川児童相談所の一時保護所に勤務していた原告への仮眠時間も対応に追われた未払い賃金と、研修もさせずに過酷な

岩波はつみ県政報告会のお知らせ

日時:2025年5月17日(土)10時～12時

会場:鎌ヶ谷市中央公民館 学習室1

ご自由に参加ください。



業務につかせた安全義務違反が認められた。本判決は、県内一時保護所に勤務する職員に同様に当てはまる事柄あり、改めて、児童相談所の労働環境の改善が急務であると原告は訴えた。

職員の定着には業務量の低減が有効

環境改善には何をどうするか?ゲームをめぐる親子喧嘩、子どもの前での夫婦喧嘩の類まで、虐待定義が拡がりたやすく分離される昨今、多数の家族が悲鳴を上げている。不要な分離を予防し、使われる血税と分離ショックからの二次被害を確実に止めねばならない。その砦は市町村にある。

### 県議経験・民間経験を通じて描く 市民の未来

30代に入り私は鎌ヶ谷市議会議員となりました。2期8年は何もできない失望感に落ち込み、40代は政治の世界から離れ、民間事業とNPO事業に邁進しました。その中で東京湾アクアライン通行料金(3,000円)が高額過ぎて庶民は使えない実態をみて、専門機関に調査を依頼しその結果を受け、800円運動を呼びかけました。7年がかりで実現できたことが、私を政治の道に引き戻しました。

50代市長選挙に繰り返し臨むも実現できず、市議として2期市政に携わり、60代には千葉県議となり2期を疾走し、この間は市内・全国で発生している同意なき親子分離、行き過ぎた児童虐待行政に真っ向から挑んできました。

その経験を活かし、市が家族支援と虐待防止の要となり、同時に誤認・冤罪から親子を救う役割を持つこと、人権侵害を防ぐ砦となることを形にするために働くことを決意しました。

仔馬のいる野馬追公園があったら、ワクワクしませんか？野馬を追い込んだとっ込めも再現して3月、福島県南相馬市にて、野馬追い発祥の地千葉県北西部と1,000年の歴史を刻む相馬地域との共同事業の可能性を情報交換しました。



市民活動家

# 岩波はつみ



#### 岩波初美(イワナミ ハツミ)経歴

- 1959年(昭和34年)山梨県生まれ
- 鎌ヶ谷市鎌ヶ谷1丁目在住
- 夫・子ども3人・孫5人
- 千葉大学教育学部卒業、千葉工業大学大学院修士課程修了。
- 大学卒業後、生活協同組合職員8年、鎌ヶ谷市議会議員4期、NPO法人役員、会社役員を経て、アクアライン800円提言・実現。千葉工業大学特別講義講師11年間務める。鎌ヶ谷市長選挙に3回挑戦。
- 現在 2019年4月より千葉県議会議員2期、知的障がい者グループホーム職員、兄相と親子の架け橋千葉の会世話人、児童相談所のあり方を考える地方議員懇談会代表、北千葉道路地下化で街づくりの会顧問

**自称** 市民活動家タイプの政治家  
**心得** 知ることは超えること  
**愛読書** アウシュビッツ収容所を生き延びた精神科医ヴィクトール・フランクルの著書

# 人の和と 大地の力で チーム鎌ヶ谷を

## 市民と画く鎌ヶ谷ビジョン 人の和、大地の力で市民が歩きたくなる街を創る

### ●経営戦略室の新設

- 事業見直しで財源を捻出し**財政を立て直す**⇒すべての事業の見直しにより、合理性効率性に基づきサービス財源を捻出
- 市内全域の大地を活かして**地元経済を動かす**⇒スポーツと農の南部地域、飛行場のある北部住宅地、北千葉道路周辺は商業住居の中西部
- 温暖化抑制**ゼロカーボン都市を推進する**⇒施設には省エネ導入原則、市役所車両を電動バイクへ転換、雨水浸透で豪雨をコントロール
- 開発機会を逃さず**歩道・道路の先行拡幅条例**⇒開発・建て替え等のタイミングで歩道・道路拡幅を先行実施する
- 健康まちづくり～歴史と憩いの公園へ機能アップ**⇒出かけたくなる街、公共交通整備、公園には飲食店を、野馬追公園を拡大
- 本気で取り組む**介護予防・成人病予防**⇒少子高齢化社会、予防で低減できるのが医療費介護費。通いの場、運動、食、笑い、楽しみ、働く場
- 駅周辺への**交流拠点機能の導入**⇒新鎌ヶ谷駅には歩き楽しむエリア再検討、東武鎌ヶ谷西口再開発検討、初富駅周辺開発と導入路再検討
- 価値ある北千葉道路へ**都市計画再検討**⇒複雑な既存施設を横切る北千葉道路鎌ヶ谷区間、地下構造含め価値を生むための再検討チーム発足



### ●危機管理室の新設

- 天災・感染症など**非常時を指揮・調整する市役所へ**⇒専門チームの下で訓練の実施、備蓄品の確認・点検・入れ替え・総合対策
- 自治会活動を軸として**非常時の訓練と心構え**⇒自治会組織のベースの取り組みとして、住民参加の実務的訓練で安心を形成
- 周辺からの**広域避難の受け皿**としての体制整備⇒首都災害や被災地域からの受け入れ機能を果たせるよう移動含む体制整備

### ●人権室の新設

- こどもから高齢者まで**すべての市民の人権尊重**の砦を築くために**人権尊重条例**をつくる
- ⇒児童から高齢者まで人権侵害を抑制する法令が運用されているものの、一方で公権力による行き過ぎた親子分離、親の連れ去り等、誤認や冤罪は常に付きまとい、法令で救われない場合、行政を相手にする訴訟は時間も費用負担も個人にのしかかり、泣き寝入りさせざるを得ない事例が多数生じている。人権条例の下に第三者調査チームを置き判断経緯と結果を再調査・検討し、意見具申を事案ごとに執行機関に行う。

